

毎週平ら泥まみれ20分

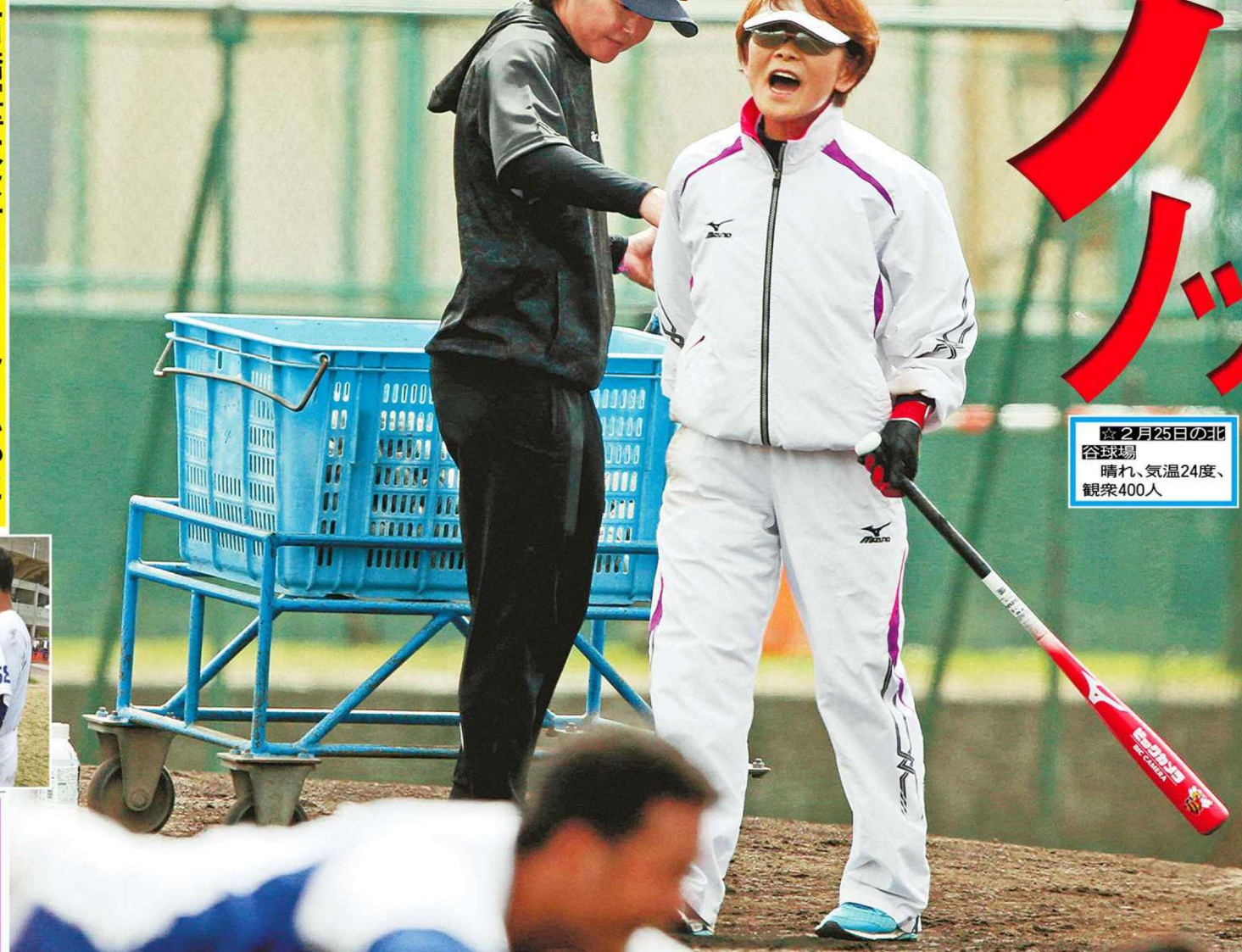
飛び入り!!

鬼バグ

ソフト「伝説の名将」宇津木妙子さんが竜ナインを熱血指導



石橋「偉大な方に...うれしかった」
 泥まみれになった高橋、と「ダンゴムシがいましまれました」と最敬礼。石橋は宇津木さんの参戦に感謝した。主将は「元氣出張。場を盛り上げ、宇津木さんのおかげです。楽しんでいただきました。楽しくやれました。オープン戦が続いていくので、頑張ってください」とコメント。レギュラーで捕球し損ねる



★2月25日の北谷球場
 晴れ、気温24度、観衆400人



キヤンブ編
 洪谷真

3秒に2球打つ
 横にいた僕は、ノックの鬼にスイッチが入るの

が手に取るようにわかった。見学では飽き足らずに「もっと前へ」。それでも我慢できずに横のスタッフに「手袋とノックバット持ってきて」。ソフト

知の球団関係者は「ずいぶん厳しくなりました。前は優しくして、ソフトボールの練習を見られなかったです」と笑っていた。

左手で箸の教え
 シニアアドバイザーの肩書を持つビックカメラ高崎が、北谷球場に隣接するソフトボール場でキヤンブ中という緑から、飛び入りノックが実現した。伝説の名将にすた。ソフトボール界の至宝・上野由岐子は右投手なのに左手で箸を持つ。それは宇津木さんの教えだとう。

「そう。上野だけじゃなく(前身の)日立のころからね。箸を使う細かい作業は神経にもいい。それに練習でも右で100本振ったと、左では倍の200本振れと教えてきた。体のバランスが偏ってしまうから」

06年は2時間半
 僕の記憶が正しければ、宇津木さんが中日の選手を鍛えるのは14年ぶりだ。2006年に当時ルーキーの新井が受けた。何と2時間半! 泥だらけになり、必死に食らい付いたあの日から、宇津木さんの教え子になった。「良太、良太」とかわいがり、今回も中日より前に阪神のオープン戦を訪れてみる。グラウンドに立つだけで空気が引き締まる。それだけで厳しさが絆を生まる。勝負の世界のリーダーとはかくあるべし...



ドラ動画はコチラ
 レイアウト☆野口 泰一



春季キャンプも最終盤。思い返せば、新人選手の入寮からはや1カ月半がたった。あつと言っただけのような気がするが、久しぶりに会ったドラフト6位の竹内の姿に時間の長さを実感した。

ドラ番記者
 「毎日あるのが体に対応してききました」と、この日の練習ではしっかりとランバウンドで打ち返した。高校時代に球速が30kmでアップした伸びしろ十分の右腕。まだまだ成長が楽しみだ。

①バックに苦悶な表情を見せる(左から)石橋、高橋、井領、②終了後、話をする(右から)宇津木元監督、井領、高橋、石橋(いずれも中嶋大撮影)